

I 収支計画評価（対前年比・対新改革プラン比較表）

1 収益的収入

（単位：百万円）

		29年度実績 A	30年度プラン B	30年度実績 C	対プラン比較 C-B	備 考
収 入	1. 医 業 収 益 (A)	10,444	10,947	11,105	158	
	(1) 料 金 収 入	10,046	10,369	10,703	334	
	(2) そ の 他	398	577	402	▲ 175	
	うち他会計負担金	96	111	82	▲ 29	
	2. 医 業 外 収 益 (B)	795	756	871	115	
	(1) 他会計負担金・補助金	523	538	582	44	救急分は医業収益へ！
	(2) 国（県）補助金	31	29	32	3	
	(3) 長期前受金戻入	55	44	81	37	
	(4) そ の 他	186	145	176	31	
	経 常 収 益 (A)+(B) (C)	11,239	11,703	11,976	273	

2 収益的支出

（単位：百万円）

		29年度実績 A	30年度プラン B	30年度実績 C	対プラン比較 C-B	備 考
支 出	1. 医 業 費 用 (D)	10,902	11,014	11,263	249	
	(1) 職 員 給 与 費 a	5,636	5,800	5,704	▲ 96	児童手当は職員給与費から除外
	(2) 材 料 費	2,628	2,445	2,855	410	
	(3) 経 費	1,783	1,980	1,806	▲ 174	
	(4) 減 価 償 却 費	791	719	796	77	
	(5) そ の 他	64	70	102	32	児童手当を含む
	2. 医 業 外 費 用 (E)	750	814	766	▲ 48	
	(1) 支 払 利 息	204	214	189	▲ 25	
	(2) そ の 他	546	600	577	▲ 23	
	経 常 費 用 (D+E) (F)	11,652	11,828	12,029	201	
経 常 損 益 (C)-(F) (G)	▲ 413	▲ 125	▲ 53	72		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (H)	0	0	0	0	
	2. 特 別 損 失 (I)	405	404	405	1	
	特別損益 (H)-(I) (J)	▲ 405	▲ 404	▲ 405	▲ 1	
純 損 益 (G)-(J) (K)	▲ 818	▲ 529	▲ 458	71		
累 積 欠 損 金	12,247	12,032	12,705	673		

3 各種経営指標

(単位：%)

	29年度実績 A	30年度プラン B	30年度実績 C	対プラン比較 C-B	備 考
経常収支比率 $\frac{(C)}{(F)} \times 100$	96.5	98.9	99.6	0.62	この数値は決算書と同じ
医業収支比率 $\frac{(A)}{(D)} \times 100$	95.8	99.4	98.6	-0.79	プランは決算統計数値を使用するため、決算書数値とは異なる。
職員給与費対医業収益比率 $\frac{a}{(A)} \times 100$	54.0	53.0	51.4	-1.62	プランは決算統計数値を使用するため、決算書数値とは異なる。
病床利用率 (許可病床数ベース)	75.7	76.4	77.1	0.7	許可病床数 平成28.4 (458床) 平成29.3～ (438床)
病床利用率 (稼働病床数ベース)	83.7	84.5	85.5	1.0	稼働病床数 ※許可病床数から休床42 床を引いた値 平成28.4 (416床) 平成29.3～ (396床)

II 新改革プランの取組の評価

評価 ○：概ね達成（目標値の100%以上） △：不十分（90～100%未満）
×：未達（90%未満）

第1節 経営の効率化（『彦根市立病院 新改革プラン』（以下「冊子」という。）p.64）

【財務内容に係る数値目標】

項目（対医業収益）	平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	ベンチマーク （2017年中医協）	令和元年度目標
給与比率	53.0%	52.0%	△1.0%	54.2%	52.5%
材料比率	25.0%	25.9%	+0.9%	26.5%	25.0%
減価償却比率	6.6%	6.5%	△0.1%	6.6%	5.7%

	平成30年度考察	令和元年度具体策
給与比率	<ul style="list-style-type: none"> ● 医業収益の伸び ⇒ 比率低下 ● 希望退職者の減 ⇒ 退職手当の減 ● 人事院勧告 ⇒ 給与費の増 ● 常勤医師の増員 ⇒ 給与費の増 ● パートDr.の勤務の減少 ⇒ 給与費の減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 採用 ⇒ 長時間労働のない魅力ある職場で呼び込み ● 時間外勤務 ⇒ タスクシフトの推進で短縮 ● 人件費 ⇒ 人材派遣・アウトソーシングへの切り替え
材料比率	<ul style="list-style-type: none"> ● 25% ⇒ 前年度比+0.9ポイント ⇒ 手術件数の増加による 	<ul style="list-style-type: none"> ● 購入 ⇒ 入札制度を続ける ● 品目数の圧縮 ⇒ 採用総数管理を続ける
減価償却比率	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機器 ⇒ 協議で決定 ● 採算性の評価 ⇒ 方法の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機器の更新計画 ⇒ 対象を500万円以上 ⇒ 300万円以上に拡大 ⇒ 精緻な管理 ⇒ より現実的な更新時期を知る

【収益に係る数値目標】

項目	平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	ベンチマーク （2017年度全国公私病院連盟）	令和元年度目標
入院平均単価	60,000	60,836	+838	59,600（DPC病院平均）	62,000
外来平均単価	14,000	14,696	+703	15,600（DPC病院平均）	15,000

	平成30年度考察	令和元年度具体策
入院平均単価	<ul style="list-style-type: none"> ● 入院料の増加（前年度比106%） ● 入院期間の短縮（13.2日⇒11.9日） ● 入院期間率Ⅰ・Ⅱ（＝平均的な入院期間）の構成比の向上（63.7%⇒67.2%） ● 地域包括ケア病棟の有効活用（平均稼働率：94.7%） ● 手術件数の増加（3849件 ⇒ 4254件、405件増加） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入院期間率Ⅲを超える疾患（＝平均以上の入院期間）の抽出 ⇒ 改善する ● 診療計画（以下「パス」という。）の見直し ⇒ パス部会で行う ● 地域包括ケア病棟への転棟 ⇒ タイミングをベストなものにする ● 集患 ⇒ 手術が必要な患者を地域連携センター経由で集める ● 薬剤部・リハビリ科・歯科口腔外科 ⇒ 生産性を上げる <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者への服薬指導を増やす ・ 患者へのリハビリを増やす（土日もありハビリをする） ・ 歯科衛生士による口腔ケアの強化（特に入院患者）
外来平均単価	<ul style="list-style-type: none"> ● がん化学療法の増加（投薬料 = 前年度比124%；注射料 = 前年度比114%） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 手術前の検査 ⇒ 入院してからだと病院の収益は0円 ⇒ 外来で検査を徹底する ● 高気圧酸素療法の開始

1. 収益増加（冊子 pp.65 ～）

(1) レセプト請求の適正化

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
診療報酬60項目で約11,310件の増加 ⇒ 約4,500万円の増益	10,622件/年の増加 ⇒ 約3,700万円の増益	増益は計画の82%に留まった	×	前年度比7%増加 ⇒ 約3,900万円の増益を目指す
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 診療報酬の算定件数 ⇒ 82.4%（未達） ● レセプト請求に関する査定等 ⇒ 29年度以下に ● 施設基準 ⇒ 新しく22項目届出 ⇒ 4.6億円増益 		<ul style="list-style-type: none"> ● 「落穂ひろい作戦」 ・ 関連部署へ診療報酬の周知 ・ 進み具合を管理 ・ システムを活用 ● 2020年診療報酬改定を早めに勉強 ● 施設基準 をランクアップ ⇒ 人員の確保がメインになる 		<ul style="list-style-type: none"> ● 「落穂ひろい作戦」 の管理 ⇒ チームを作る ⇒ 定例会議で進み具合を報告 ● 進み具合 ⇒ 分析ソフトで数字に表す ● レセプトの精確さを委託業者に調査してもらう ● 医師と医事課のコミュニケーション ⇒ 「医師・医事 連絡会議」を続ける

(2) 施設基準の届出

【総合評価加算】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
月平均120件	月平均63件	計画の51.6%に留まった	×	月平均68件 (昨年度実績の7%増し)
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 電子カルテの患者掲示板の活用 ⇒ 加算の対象であるとコメントを入力 		<ul style="list-style-type: none"> ● 電子カルテの患者掲示板 ⇒ 要件を満たす患者が少ないが、活用を続ける ● 平均在院日数の短縮 ⇒ 評価までに退院してしまい算定できないことがある 		<ul style="list-style-type: none"> ● 病棟にマニュアルを配布 ⇒ 対象患者の判断を行いやすくする ● 算定の要件 ⇒ 病棟に周知 ● 選出方法 ⇒ 見直しを続ける

【夜間急性期看護補助体制加算】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
人員の確保	未届け	—	×	届出に向けて引き続き人員確保に努める
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 派遣企業への働きかけ ⇒ 実りを結ばなかった ● 障害福祉課への働きかけ ⇒ 実りを結ばなかった 		<ul style="list-style-type: none"> ● 働きかけを続ける 		<ul style="list-style-type: none"> ● 働きかけを続ける。 ● 雇用形態についても柔軟に応じるようにする

【病棟薬剤業務実施加算】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
23,000千円/年	17,000千円/年	-6,000千円/年	—	加算の算定 ⇒ 続ける
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">※ 【薬剤管理指導料】 にシフトしたため低下（係数は満点確保）</div>				
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 病棟薬剤業務 ⇒ 地域包括ケア病棟の開設により減少 ● 人員 ⇒ 産休や退職者等 ⇒ マンパワー不足 		<ul style="list-style-type: none"> ● 病棟薬剤業務の安定化 		<ul style="list-style-type: none"> ● 新人の教育 ⇒ 病棟に配置

(3) 現有機能の強化

【ICU稼働病床の活用】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
6床で稼働率80%以上	6床で稼働率108%	—	—	無駄のないベッドコントロールをめざす
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度の課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 「早期離床・リハビリテーション加算」 ・ 月平均 ⇒ 113件で目標クリア ・ 合計 ⇒ 911件 約450万円（8か月間） ● 「特定集中治療室管理料」 ⇒ 1.38億円（昨年度よりアップ） ● 8床運用での稼働率 ⇒ 59.0%にダウン 		<ul style="list-style-type: none"> ● 予定手術患者の入室増加（40%以上） ● 入室状況の安定化（常時4～5床の稼働） 		<ul style="list-style-type: none"> ● 術後ICU入室 ⇒ 声かけを継続 ● 入室14日以上 ⇒ 加算を取れなくなる ⇒ 超えぬよう留意 ● 一般病棟が満床 ⇒ 可能な限りICUで受入れ

【健診センターの強化】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
日帰りドック 1,300件 宿泊ドック 20件 脳ドック 340件	1,416件 5件 361件	+108.9% ▲25.0% +106.1%	○ × ○	日帰りドック 1,460件 宿泊ドック 7件 脳ドック 372件 心臓ドック 20件
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 室内スペースの拡大工事 ⇒ 快適な利用へ ● 脳ドック ⇒ 認知症検査を付けたコースを新設 ● 新メニュー ⇒ 動脈硬化検査・睡眠時無呼吸症候群検査 ● 周知活動の実施 ⇒ 広報ひこね、かがやき通信等 		<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊ドック ⇒ メニューの見直し ● 心臓ドック ⇒ 新たに周知開始 		<ul style="list-style-type: none"> ● 周知活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ チラシや出前講座によるPR ・ 団体への営業活動 ● キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 還暦祝い、敬老の日、退職祝いなど

(4) 地域医療支援病院

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
紹介率50%以上 逆紹介率70%以上	64.6% 84.1%	+14.6ポイント +14.1ポイント	○ ○	紹介率50%以上・逆紹介率70%以上の維持 = 地域医療支援病院の要件
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● Dr.へ逆紹介の意識付け 		<ul style="list-style-type: none"> ● 紹介患者専用窓口の設置を予定 ⇒ 開業医から当院への紹介しやすさが目的 ⇒ 紹介率の向上へつなげる 		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域医療従事者研修会 ⇒ 年間12回以上 ● 約8,000万円/年の増収 <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介患者専用窓口の設置 ・ 選定療養費の周知 ⇒ 紹介状持参を奨励

2. 医療技術部門の取り組み（冊子 pp.73 ～）

(1) リハビリテーション科

【リハビリテーション件数の増加】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
脳血管 2,503件/月 運動器 1,843件/月 心大血管 1,157件/月 呼吸器 517件/月 がん患者 206件/月	2,191件/月 1,723件/月 1,107件/月 463件/月 179件/月	-312件/月 -120件/月 -50件/月 -54件/月 -27件/月	△ (全体で達成率91%)	脳血管 1,840件/月 運動器 1,796件/月 心大血管疾患 1,241件/月 呼吸器 470件/月 がん患者 203件/月 廃用 571件/月
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月の実績 ⇒ 技師室に掲示 ⇒ スタッフは日々の単位調整に努める ● 超過勤務 ⇒ 短縮の啓発ポスター & 毎月の実績を掲示 		<ul style="list-style-type: none"> ● リハビリ実施単位数 ⇒ 昨年度以上に ● 退院時リハビリテーション指導料算定率 ⇒ 100%に ● 入院患者の初回リハビリテーション評価料算定率 ⇒ 100%に 		<ul style="list-style-type: none"> ● 毎日の業務実績 ⇒ 個人ごとに掲示 ● 疾患別実績 ⇒ 週単位で分析 ⇒ 担当者に周知 ● リハビリの単位数 ⇒ 主治医に報告 ● パンフレットを作成 ⇒ 患者に説明 ● チェックシートを作成 ⇒ 担当者に周知

(2) 薬剤部

【薬剤管理指導料】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
薬剤師1人当たり23件/月 薬剤師13人 ⇒ 23件×13人 = 月約300件 ⇒ 300件×12月 = 年間 3,600件	3,941件	+9.4%	○	月700件
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 業務分担 & 病棟担当者との情報連携 ⇒ 業務の効率化 ● 派遣の利用 ⇒ 産休・育休による欠員を補充 		<ul style="list-style-type: none"> ● 指導件数の維持 ⇒ 一方で質の担保 		<ul style="list-style-type: none"> ● 記録にかかる時間の短縮 ⇒ 服薬指導支援ソフト導入 & 各病棟テンプレート作成 ● 産休・育休による欠員 ⇒ 派遣利用を続ける

【後発医薬品指数の向上】

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
後発品使用割合85%以上	約95% カットオフ値 50.0%以上	85%以上を維持	○	後発品の購入 ⇒ 薬剤費の節約
平成30年度 取組の概要および考察		令和元年度への課題		令和元年度の具体策
<ul style="list-style-type: none"> ● 後発品導入 ⇒ 採用後の安定供給が必要 ● カットオフ値等も考慮すると50%以下の月も ⇒ 後発品のない先発品の導入を制限 & 退院処方日数の調整 		<ul style="list-style-type: none"> ● 新薬や後発品等のない先発医薬品 ⇒ 導入制限 ● 対象薬剤の退院処方日数の調整 ● カットオフ値50%以上の安定確保 		<ul style="list-style-type: none"> ● 院内後発品 ⇒ 採用率の把握 ● 他病院の情報収集 ● コンサルとの協力

【栄養科】 栄養指導件数の増加

平成30年度計画	平成30年度実績	対計画比較	評価	令和元年度目標
NST加算件数 700件	703件	100%	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別食 ⇒ 脂質異常症で強化 ● 栄養指導 ⇒ 高血圧で強化 ● 入院栄養食事指導件数の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院栄養食事指導（初回） 1,840件 ・ 入院栄養食事指導（2回目） 390件 ● 集団栄養食事指導の参加人数を増やす <ul style="list-style-type: none"> ・ 循環器教室 125人 ・ 糖尿病教室 125人
外来栄養食事指導料				
初回（260点）700件	696件	99.4%	△	
2回目（200点）1,900件	1,553件	81.7%	×	
入院栄養食事指導料				
初回（260点）1,900件	1,720件	90.5%	△	
2回目（200点）560件	366件	65.3%	×	
糖尿病透析予防指導 600件	786件	131%	○	
居宅療養管理指導料 8件	0件	0%	×	
平成30年度 取組の概要および考察	令和元年度への課題		令和元年度の具体策	
<ul style="list-style-type: none"> ● 栄養サポートチーム ⇒ 15人／回の目標達成 ● 栄養指導 ⇒ 入院・外来とも未達成 ⇒ 入院栄養指導は2回目の実施増が難しい ● 糖尿病透析予防指導 ⇒ チームで連携 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入院栄養指導 ⇒ 2回目を増やす ● 集団栄養指導 ⇒ 参加人数を増やす ● 居宅療養管理指導 ⇒ 実績づくり 		<ul style="list-style-type: none"> ● 特別食 ⇒ 脂質異常症食で90%を目標 ● 入院栄養指導 ⇒ 7%増 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目 ⇒ 入院早期に実施 ・ 2回目 ⇒ 実施できる工夫&徹底 ・ がん患者への栄養指導を増やす ● 集団栄養指導 ⇒ 病棟の協力を仰ぐ ● 地産地消の推進 ● 献立の見直し 	

3. 入院患者数増加（冊子 p.75）

(1) 紹介・逆紹介率向上

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 紹介率 ⇒ 安定している ⇒ 診療科別に紹介元を分析 ⇒ 更なる開拓 ● 「地域連携だより」 ⇒ 新規導入の医療機器の説明も ● 逆紹介 ⇒ 急性期を過ぎたら速やかに開業医に返す ● 切れ目のない医療 ⇒ 開放型病床で開業医と連携 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 更なる紹介率の向上 ⇒ 診療科別・医師別に紹介元を分析 ⇒ データの細分化 ⇒ ニーズの高い診療科・医師を把握 ● 診療密度の高い医療の提供 ⇒ 外来の「センター化」への取組 ● 逆紹介 ⇒ 院内で医師の業務負担軽減 ⇒ 逆紹介しやすい環境へ

(2) 休床病棟の活用

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケア病棟への転棟 ⇒ 採算性なしと判断 	△	<ul style="list-style-type: none"> ● 他病棟の改修時 ⇒ 一時避難先として4A病棟を利用

(3) 医師の確保

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 常勤医師数（臨床研修医除く） <ul style="list-style-type: none"> ・ H30.4.1 ⇒ 71名(正規66名、非正規5名) ・ H31.4.1 ⇒ 75名(正規64名、非正規11名) 《内訳》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 増員5名：消化器内科2名、皮膚科1名、麻酔科1名、在宅診療科1名 ・ 減員1名：循環器内科1名 ● 医師確保 ⇒ 院長ほか幹部が大学等の関係機関を訪問 	△	<ul style="list-style-type: none"> ● 医師確保 ⇒ 続ける

4. マネジメント（冊子 p.76）

(1) 目標管理の高度化

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 全科共通目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者数 1日当たり340人 ⇒ 337.5人 ⇒ 未達 ・ 入院単価 60,000円 ⇒ 60,836円 ⇒ 達成 ・ 外来患者数 1日当たり925人 ⇒ 947.9人 ⇒ 未達 (減少が目標) ・ 外来単価 14,000円 ⇒ 14,696円 ⇒ 達成 ・ 診療科ごと、医師ごとに入院患者数を管理 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 全科共通目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者数 1日当たり342人 ・ 入院単価 62,000円 ・ 外来患者数 1日当たり940人 ・ 外来単価 15,000円

(2) 医療機器等の更新計画

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機器更新計画 ⇒ より精緻に ⇒ 検討の対象を500万円以上 → 300万円以上に拡大 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機器更新計画 ⇒ 定期的な見直し

(3) 人員管理の精緻化

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 医師を除く正規職員の数 <ul style="list-style-type: none"> ・ H30.4.1 ⇒ 538名 ・ H31.4.1 ⇒ 547名 《内訳》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 増員10名：看護師4名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、理学療法士1名、診療放射線技師1名、診療情報管理士1名 ・ 減員1名：看護助手1名 ● 採用 ⇒ 各所属長の人事ヒアリングを踏まえて決定 	△	<ul style="list-style-type: none"> ● 【財務内容に係る数値目標】「給与比率」を参照

(4) 診療科別・部門別原価計算の導入検討

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 損益計算 ⇒ すべての診療科に実施 ● 部門別計算 ⇒ 不採算部門（周産期・小児・救急・在宅診療科）に実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療科別の原価計算 ⇒ 新たな分析ソフトを導入予定 ⇒ H30年度に築き上げた計算法を適用 ⇒ 診療効率の分析に用いる

(5) 経営改善に向けた効果的な組織の整備

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 経営戦略室 ⇒ 診療情報管理士を1名配置 	△	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事課 ⇒ 診療情報管理士を1名増員（計6名）

5. 経費抑制（冊子 p.76）

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃・警備業務の委託 ⇒ 業務内容の整理 ⇒ 経費の削減に成功 ● 機器の保守管理 ⇒ 放射線機器の管球交換を含めた ⇒ 効率化に成功 ● 委託業務の価格分析 ⇒ コンサルに依頼 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器の寿命を延ばす ⇒ 定期点検 & 予防修繕 ● 機器の保守管理 ⇒ 契約の見直し（保守委託料について評価）

第2節 地域医療構想を踏まえた役割の明確化（冊子 pp.77 ～）

1. 医療の質向上に向けた取り組み（冊子 pp.78 ～）

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 医療の質を具体的な数値で評価（臨床指標）⇒ 日本病院会や京都大学などが実施している3事業に参加 ⇒ 算出データを当院の部会で検討 ● 当院の強みとなる臨床指標 ⇒ ホームページに掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養科、救急応需率、大腿骨の地域医療パスなど 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 臨床指標のデータ ⇒ 一部の部署だけでなく、より多くの部署に公表

2. 高機能病床の検討

平成30年度 取組の概要および考察	内部評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 6床運用 ⇒ 8床運用には看護師の増員 ● 8床運用 ⇒ 空きが出る ⇒ デメリット 	△	<ul style="list-style-type: none"> ● 6床運用 ⇒ 効率的なベッドコントロールで維持 ⇒ 8床運用も視野に入れる

3. 地域包括ケア病棟導入後の運用

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 実績（H30.10～） <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均稼働率=94.7%（100%が目標） ・ 平均在院日数=18.1日（60日以下が条件） ・ 平均在宅復帰率=90.0%（70%以上が条件） ・ 平均リハビリ単位数=2.4（2.0以上が条件）⇒ 約5,000万円/年の利益を見込む ● 稼働前（4月～9月）の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病棟へ転棟できる患者 ⇒ 候補リスト作成 ・ 患者選定会議 ⇒ 転棟の方法、ルール等の作成 ・ 関係する職員 ⇒ 開設前に研修 ● 稼働後の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ コアメンバー会議 ⇒ 稼働後の実績の評価 ・ 患者選定ルール ⇒ 折を見て見直し ・ 運用上の問題点の抽出 ⇒ 解決策へ ・ 転棟実績の推移の可視化 ⇒ 「地域包括ケア病棟だより」で広告 ・ 大津市民病院からの見学に対応 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 転棟タイミングの適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 収益が最大となるタイミングを意識 ・ 疾患別にタイミングを標準化 ・ 診療計画に組み込む ● 利用してくれる診療科の拡大 ⇒ 入院期間が長くなりがちな診療科を呼び込む ⇒ 呼吸器内科、糖尿病代謝内科、消化器外科など ● 患者さんのメリットを意識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅復帰を進める-1 ⇒ リハビリ提供 ・ 在宅復帰を進める-2 ⇒ ケアマネ連携

第3節 再編ネットワーク化（冊子 pp.79 ～）

1 湖東保健医療圏内4病院での連携強化（冊子 pp.80 ～）

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 転院時の連携 ⇒ フェイスツーフェイスで相互理解を進めた ⇒ 病床稼働率の向上に大きく寄与 ● 認知症ケア ⇒ 当院には専門の医師・看護師が在籍 ⇒ 認知症サロンによりケア充実 	○	● 地域の医療ニーズ ⇒ 改めて把握 ⇒ 必要とされる急性期医療の充実へ

2 地域医療支援病院

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● ポスター作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 整形外科の「人工関節センター」 ・ 神経内科の「睡眠外来」 ・ 乳腺外科の「乳がん検診」 	○	● ポスター ⇒ ほかのチャンネルでも広報を続ける

3 医療圏を越えたネットワークの構築

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 循環器内科の連携 ⇒ 市立長浜病院の看護科長4名と人事交流 ⇒ 連絡体制の見直し ⇒ スピーディーに患者さんを転院させることが可能に 	○	● 医師不足 ⇒ 急性期病院どうしの支援が必要 ⇒ 県の指導下で連携を強固にする

4 地域包括ケアシステム構築に向けた診療機能の充実

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅診療 ⇒ 湖東医療圏の弱点 ⇒ 当院の在宅診療科が活躍 ⇒ 在宅看取りが地域で増加 ● 地域連携センターに看護師を配置 ⇒ 地域の患者の流れをマネジメント 	○	● 地域連携センター5部門（入退院支援室・患者家族支援室、地域医療連携室、訪問看護ステーション、在宅医療支援室）で、地域の患者の流れをマネジメントできるように

第4節 経営形態の見直し（冊子 p.80）

平成30年度 取組の概要および考察	評価	令和元年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 地方公営企業法の全部適用 ⇒ 事業管理者に財務・人事・経理の裁量権 ⇒ 事業管理者の直轄組織（経営戦略室）が経営改善を進めてきた 	△	● 事務職員に専門職を増やす ⇒ 診療情報管理士や医療情報技師など

平成30年度患者数（入院）

		30年4月	30年5月	30年6月	30年7月	30年8月	30年9月	30年10月	30年11月	30年12月	31年1月	31年2月	31年3月	合計	1日平均	1日平均 (退院患者数 を含む)	基準値	H29.4~ H30.3	増減率 %	H28.4~ H29.3		
在 院 患 者 数	内科	内科	833	216	136	104	94	23	28	8	22	11	7	4	1,486	4.1	4.3		-	-	-	内
		消化器内科	617	849	845	1,014	1,166	912	978	956	897	1,193	984	1,136	11,547	31.6	34.3		-	-	-	消内
		血液内科	191	310	428	577	551	390	355	398	604	585	595	653	5,637	15.4	16.1		-	-	-	血
		糖尿病代謝内科	223	301	345	376	292	260	312	258	230	248	337	341	3,523	9.7	10.3		-	-	-	糖
		合計	1,864	1,676	1,754	2,071	2,103	1,585	1,673	1,620	1,753	2,037	1,923	2,134	22,193	60.8	65.0	62.0	22,000	0.9	19,960	
	呼吸器内科	1,225	1,249	982	1,195	1,055	1,159	1,141	1,153	913	1,042	905	1,111	13,130	36.0	38.0	36.0	-	-	-	-	呼内
	呼吸器外科	113	79	139	210	128	106	126	114	137	151	199	180	1,682	4.6	4.9		-	-	-	-	呼外
	合計	1,338	1,328	1,121	1,405	1,183	1,265	1,267	1,267	1,050	1,193	1,104	1,291	14,812	40.6	43.0		15,282	-3.1	15,359		
	小児科	305	325	338	236	242	287	263	311	229	251	135	231	3,153	8.6	10.7	9.0	3,290	-4.2	3,412	小	
	外科	外科	217	49	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	268	0.7	0.8		-	-	-	外
		乳腺外科	33	33	14	23	44	74	67	59	95	72	51	70	635	1.7	1.9		-	-	-	乳
		消化器外科	531	665	856	742	748	714	694	710	866	881	655	750	8,812	24.1	26.0		-	-	-	消外
		合計	781	747	870	766	792	789	761	769	961	953	706	820	9,715	26.6	28.7	25.0	9,622	1.0	8,464	
	整形外科	1,286	1,459	1,216	1,081	1,197	1,333	1,410	1,422	1,554	1,499	1,387	1,417	16,261	44.6	46.5	40.0	13,171	23.5	13,519	整	
	脳神経外科	832	753	832	928	763	679	693	644	623	764	627	772	8,910	24.4	25.7	46.0	9,357	-4.8	11,426	脳	
	皮膚科	54	60	13	90	101	55	58	73	85	103	72	50	814	2.2	2.4	3.0	294	176.9	712	皮	
	泌尿器科	334	505	358	478	575	475	453	475	463	407	304	367	5,194	14.2	15.9	16.0	6,712	-22.6	5,484	泌	
	産婦人科	132	114	114	121	108	110	77	103	124	86	72	107	1,268	3.5	4.0	10.0	1,707	-25.7	1,342	産	
	眼科	32	39	51	47	46	29	58	57	48	44	47	53	551	1.5	3.0	3.0	549	0.4	440	眼	
	耳鼻いんこう科	84	86	110	148	106	74	67	110	139	50	74	41	1,089	3.0	3.4	4.0	911	19.5	590	耳	
	神経内科	84	109	193	123	93	50	115	129	132	195	103	120	1,446	4.0	4.2		91	-	0	神	
	放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0		0	-	0	放	
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0		0	-	0	麻	
	歯科口腔外科	172	200	163	197	233	163	170	102	102	99	153	181	1,935	5.3	6.8	5.0	1,696	14.1	1,922	歯	
	形成外科	200	272	278	338	299	238	248	143	273	197	277	288	3,051	8.4	9.0	7.0	2,643	15.4	2,678	形	
	心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0		0	-	0	心	
	循環器内科	1,627	1,720	1,347	1,242	1,285	1,114	1,300	1,226	1,491	1,685	1,389	1,639	17,065	46.8	55.8	50.0	17,554	-2.8	17,025	循	
	緩和ケア科	473	535	523	526	438	313	388	396	302	303	344	422	4,963	13.6	14.1	14.0	5,305	-6.4	5,119	緩	
	在宅診療科	145	102	101	89	114	66	100	238	125	146	157	159	1,542	4.2	4.5		1,803	-14.5		在	
	計 A	9,743	10,030	9,382	9,886	9,678	8,625	9,101	9,085	9,454	10,012	8,874	10,092	113,962			330.0	111,987	1.8	107,452	計	
	(定時1日平均)	324.8	323.5	312.7	318.9	312.2	287.5	293.6	302.8	305.0	323.0	316.9	325.5	312.2					306.8	1.8	294.4	
	入院患者数	739	775	746	834	802	722	761	766	744	811	725	812	9,237		25.3			9,011	2.5	8,088	
退院患者数 B	718	777	766	814	797	764	766	733	811	723	735	829	9,233		25.3			9,019	2.4	8,097		
延入院患者数 A+B	10,461	10,807	10,148	10,700	10,475	9,389	9,867	9,818	10,265	10,735	9,609	10,921	123,195		337.5			121,006	1.8	115,549		
1日平均	348.7	348.6	338.3	345.2	337.9	313.0	318.3	327.3	331.1	346.3	343.2	352.3	337.5					331.5	1.8	316.6		
病床利用率	79.6	79.6	77.2	78.8	77.1	71.5	72.7	74.7	75.6	79.1	78.4	80.4	77.1					75.7	1.8	69.1		
病床利用率(396床)	88.1	88.0	85.4	87.2	85.3	79.0	80.4	82.6	83.6	87.4	86.7	89.0	85.2					83.7	1.8	79.9		
平均在院日数	12.9	12.4	12.2	11.7	11.6	11.5	11.4	11.4	11.5	12.0	12.1	12.2	11.9					13.2		14.2		
稼働日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365					365	-	365		

平均在院日数については、医事課作成のため翌月に記載する

平成30年度患者数 (外来)

		30年4月	30年5月	30年6月	30年7月	30年8月	30年9月	30年10月	30年11月	30年12月	31年1月	31年2月	31年3月	合計	1日平均	H29.4~ H30.3	増減率 %	H28.4~ H29.3	
内科	内科	934	1,051	914	1,215	1,148	965	973	880	929	1,302	906	899	12,116	49.7	-	-	-	内
	消化器内科	1,050	1,173	1,148	1,317	1,371	1,163	1,439	1,298	1,187	1,164	1,125	1,267	14,702	60.3	-	-	-	消内
	血液内科	361	434	392	405	409	358	464	413	404	406	381	381	4,808	19.7	-	-	-	血
	糖尿病代謝内科	1,014	1,032	1,036	1,032	1,061	978	1,118	1,025	1,020	1,040	943	979	12,278	50.3	-	-	-	糖
	合計	3,359	3,690	3,490	3,969	3,989	3,464	3,994	3,616	3,540	3,912	3,355	3,526	43,904	179.9	42,014	4.5	42,046	
呼吸器内科	877	1,001	914	970	978	859	1,038	1,028	860	914	821	946	11,206	45.9		-		呼内	
呼吸器外科	121	129	126	134	143	140	149	151	151	141	107	133	1,625	6.7		-		呼外	
	合計	998	1,130	1,040	1,104	1,121	999	1,187	1,179	1,011	1,055	928	1,079	12,831	52.6	12,702	1.0	11,942	
小児科		972	1,055	901	1,073	1,077	816	889	963	1,051	1,000	786	900	11,483	47.1	11,513	-0.3	12,445	小
外科	外科	4	4	2	2	2	0	0	0	11	16	10	8	59	0.2		-		外
	乳腺外科	339	359	368	409	429	346	459	411	362	343	370	396	4,591	18.8		-		乳
	消化器外科	550	573	549	595	603	569	667	581	584	581	562	620	7,034	28.8		-		消
	合計	893	936	919	1,006	1,034	915	1,126	992	957	940	942	1,024	11,684	47.9	11,027	6.0	10,591	
整形外科	1,844	2,044	2,011	2,028	2,129	1,837	2,055	1,903	1,922	1,863	1,690	1,758	23,084	94.6	23,276	-0.8	27,114	整	
脳神経外科	758	744	734	742	624	664	784	680	673	582	540	731	8,256	33.8	9,044	-8.7	9,152	脳	
皮膚科	508	594	650	839	931	728	712	666	571	603	562	637	8,001	32.8	7,009	14.2	11,767	皮	
泌尿器科	1,842	1,873	1,999	1,961	2,115	1,852	1,968	1,973	1,946	1,928	1,854	1,964	23,275	95.4	23,307	-0.1	22,186	泌	
産婦人科	376	385	407	415	480	393	430	361	368	364	327	363	4,669	19.1	5,050	-7.5	5,924	産	
眼科	797	839	799	875	919	759	907	901	814	746	834	793	9,983	40.9	10,342	-3.5	9,308	眼	
耳鼻いんこう科	931	930	972	925	921	791	828	825	818	817	771	908	10,437	42.8	11,025	-5.3	11,031	耳	
神経内科	518	522	499	555	563	486	554	562	550	565	489	541	6,404	26.2	5,666	13.0	5,273	神	
放射線科	356	317	322	241	162	190	232	157	161	147	368	498	3,151	12.9	3,903	-19.3	3,631	放	
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0		0	麻	
歯科口腔外科	1,174	1,270	1,215	1,436	1,474	1,143	1,322	1,263	1,049	1,070	1,145	1,241	14,802	60.7	14,523	1.9	15,700	歯	
形成外科	941	1,108	1,066	1,190	1,136	1,007	1,051	1,024	977	895	897	1,050	12,342	50.6	11,275	9.5	10,884	形	
心療内科	81	100	96	82	107	87	101	89	89	91	79	97	1,099	4.5	1,074	2.3	1,003	心	
循環器内科	2,124	2,249	2,198	2,202	2,293	1,982	2,208	2,048	1,953	1,955	1,801	1,944	24,957	102.3	25,321	-1.4	23,908	循	
緩和ケア科	51	63	56	63	48	68	82	59	62	49	66	65	732	3.0	549	33.3	586	緩	
在宅診療科	15	16	20	24	28	9	10	18	8	16	10	10	184	0.8	195	-5.6		在	
合計		18,538	19,865	19,394	20,730	21,151	18,190	20,440	19,279	18,520	18,598	17,444	19,129	231,278	947.9	228,815	1.1	234,491	計
1日平均		926.9	946.0	923.5	987.1	919.6	1,010.6	929.1	918.0	974.7	978.8	918.1	956.5	947.9		937.8		965.0	
外来診療日		20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244		244		243	